

本市所在のサービス付き高齢者向け住宅の実態

本市が実施した「高齢者居住施設調査（調査時点：平成 29 年 3 月 31 日時点）」の結果、平成 29 年 3 月 31 日現在でサービス提供を行っている本市所在のサービス付き高齢者向け住宅の概要等は、以下のとおりとなっています。

1 施設数、定員等

- 本市のサービス付き高齢者向け住宅は、全体で 15 施設（うち有料老人ホームに該当する施設 11 施設）がサービスを提供している。

経営主体別の施設数

（単位：施設）

事業区分	総数	社会福祉法人	医療法人	株式会社	有限会社	合同会社	特定非営利法人
サービス付き高齢者向け住宅 （内有料老人ホーム該当）	15 (11)	3 (3)	- (-)	9 (6)	2 (1)	- (-)	1 (1)

- 入居定員は、15 施設全体で 302 人（1 施設当たり定員最小 3 人～最大 46 人）となっている。なお、有料老人ホームに該当する施設のみでは 240 人（1 施設当たり定員最小 3 人～最大 46 人）となっている。
- 入居者は、全体の入居定員 302 人に対して入居者 250 人となっており、稼働率は 83%となっている。なお、有料老人ホームに該当する施設のみでは入居定員 240 人に対して入居者 195 人となっており、稼働率は 81%となっている。
- 15 施設のうち 1 施設が、介護保険サービスの特定施設入居者生活介護の指定（定員 40 人）を受けている。

2 併設の介護サービスとその利用状況

併設の介護サービスの状況

（単位：施設）

事業所	併設サービス		併設サービスの内訳					
	有	無	通所介護	訪問介護	居宅介護支援	小規模多機能	GH	その他
15	12	3	7	4	0	4	1	0

- 15 施設のうち、12 施設に併設の介護サービスがある。このうち 1 施設は通所介護・訪問介護・認知症対応型共同生活介護、2 施設は通所介護・訪問介護、4 施設は通所介護のみ、1 施設は訪問介護のみ、4 施設は小規模多機能型居宅介護のみ併設している。

利用している介護サービス別の内訳

(単位：人)

入居者	要介護認定		介護サービス利用者	利用している介護サービス別の内訳		
	有	無		サービス別の内訳		
				I 併設の介護サービス	II 外部の介護サービス	I・IIを併用
250	224	26	192	139	40	13

■入居者 250 人中 192 人 (77%) が介護サービスを利用しており、介護サービス利用者 192 人中併設の介護サービス利用者は 152 人 (79%) となっている。

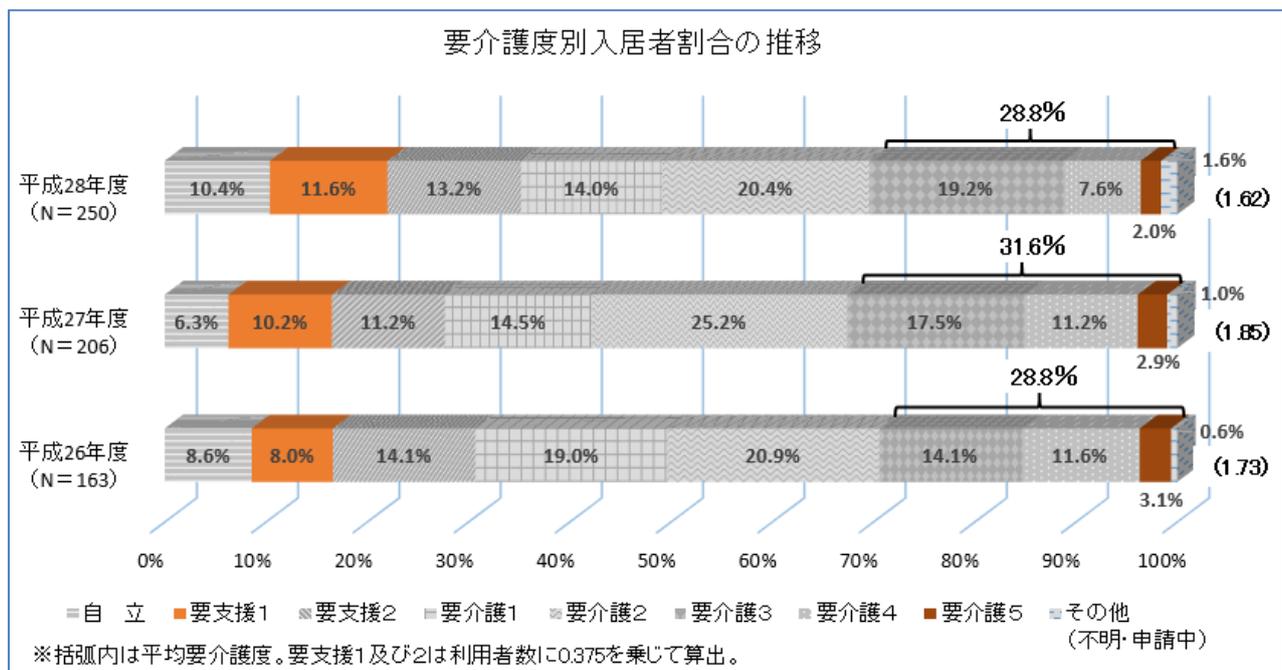
3 入居者の要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度

要介護度別の入居者数

(単位：人)

区分	認定なし	要支援		要介護					その他(申請中等)	計
		1	2	1	2	3	4	5		
入居者(人)	26	29	33	35	51	48	19	5	4	250
構成比(%)	10.4	11.6	13.2	14.0	20.4	19.2	7.6	2.0	1.6	100

■入居者 250 人中、要支援 1 から要介護 5 の入居者が 220 人 (88%) となっている。



日常生活自立度別の入居者数

(単位：人)

区分	なし	I	II		III		IV	M	計
			a	b	a	b			
入居者 (人)	81	35	26	30	25	5	4	28	234
構成比 (%)	34.6	15.0	11.1	12.8	10.7	2.1	1.7	12.0	100

※内訳未回答の施設があったため、入居者の合計が異なる。

- 「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計（次頁の表「鳥取市内のサービス付き高齢者向け住宅入居者の「日常生活自立度」と「要介護度」参照）すると、入居者の主な状態像は「要介護認定なし～要介護3」かつ「自立度なし～Ⅱb」の領域に分布している。

鳥取市内のサービス付き高齢者向け住宅入居者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		なし	要支援		要介護					計	
	判定基準	見られる症状・行動の例		1	2	1	2	3	4	5		その他
なし			26人	13人	17人	4人	6人	9人	4人	0人	2人	81人
I		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。	0人	11人	6人	8人	4人	2人	4人	0人	0人	35人
II		日常生活に支障を来すような症状・行動や意識疎通の困難さが多量に見られても、誰かが注意していれば自立できる。										
	a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	0人	1人	3人	5人	10人	3人	3人	0人	1人	26人
	b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	0人	2人	0人	7人	10人	6人	4人	1人	0人	30人
III		日常生活に支障を来すような症状・行動や意識疎通の困難さがとどき見られ、介護を必要とする。										
	a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	0人	0人	1人	6人	7人	6人	3人	2人	0人	25人
	b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	0人	0人	0人	0人	2人	3人	0人	0人	0人	5人
IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意識疎通の困難さが顕著に見られ、常に介護を必要とする。	0人	0人	0人	0人	1人	3人	0人	0人	0人	4人
M		著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	0人	1人	6人	2人	7人	9人	1人	1人	1人	28人
		計	26人	28人	33人	32人	47人	41人	19人	4人	4人	234人

【備考】

- 1 上記は平成29年度に本市が実施した介護サービス事業所調査の集計結果
- 2 調査時点：平成29年3月31日現在
- 3 回答数：15事業所 / 15事業所（回答率100%）
- 4 「その他」には、平成29年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

「要介護認定なし～要介護3」・「自立度なし～II b」が本市所在の事業所における利用者の中心的な状態像。